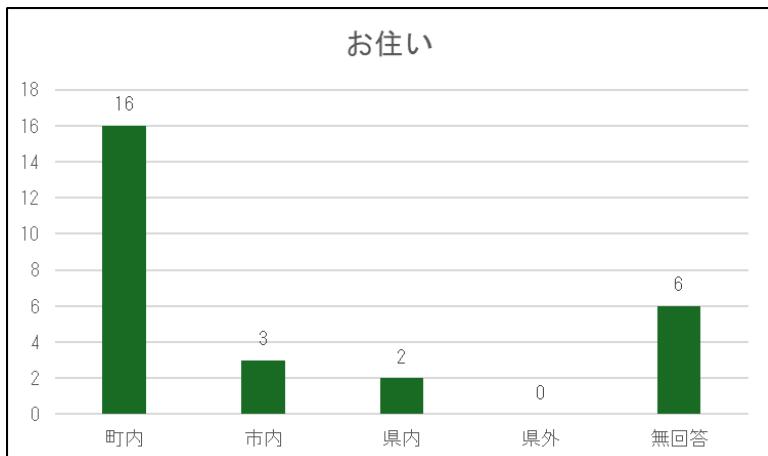
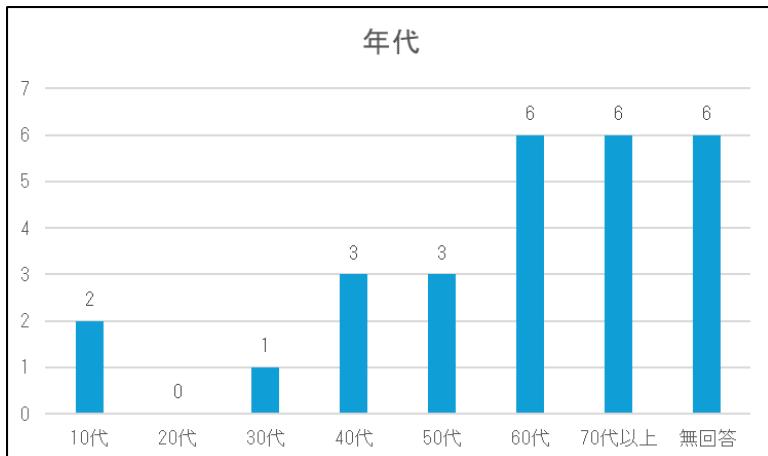


丸岡城城山整備基本計画策定に向けたエクスカーション（現場視察）参加者アンケート 結果

- ・ WS 開催日時：2025 年 7 月 8 日 13 時～14 時
- ・ 内容：丸岡城城山にて委員を含めた現場視察を行い、視察後に委員の講評、参加者へのアンケートを行った。

参加者データ

- ・ 参加者数：28 名
- ・ アンケート回収数：27 名
- ・ 回収率：93% (27/30)
- ・ 参加者の年代・お住い



住い/年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
町内	2	0	1	3	2	3	5	-	16
市内	0	0	0	0	0	3	0	-	3
県内	0	0	0	0	1	0	1	-	2
県外	0	0	0	0	0	0	0	-	0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	6	6
合計	2	0	1	3	3	6	6	6	27

40 代以下は町内の参加者のみで、50 代以上は町外からの参加もあった。

問ごとの分析

問1. 丸岡城城山の樹木について、どういった点が課題だと感じましたか？

- ・ 桜についての意見が多く（17件）、植樹もしくは伐採に二分されている。さくら名所100選に選ばれている点から、桜の植樹を希望する意見が目立つ（7件）。一方、樹木伐採に一定数の理解を示している意見（8件）が確認された。主な意見は「桜の名所として桜を増やすべき」「石垣の保全のため伐採すべき」「城山の下に桜を植樹すべき」である。
- ・ 桜を除いた樹木に関しては城山の景観を損なわないように伐採を希望する意見が多い（12件）。
- ・ 専門家の管理、指導や定期的な見回りを希望する意見も確認された（3件）。

問2. 丸岡城城山の遺跡としての現状について、どのような点が課題だと感じましたか？

- ・ 遺跡に対する課題については、安全性を指摘する意見が多い（7件）。路面が不安定で、見学者が転倒する恐れがあることから、手すりや路面整備を希望する意見が確認された。
- ・ 遺跡の活用に関する意見は主に復元と遺構の説明についての意見が確認された（復元4件/説明3件）。主な意見は「門や堀の復元」「遺構の説明板の設置」が挙げられる。
- ・ 発掘調査を進めるべきとの意見（3件）や調査成果の周知を望む意見も確認された。

問3. 丸岡城城山における建造物や構造物について、どういった点が課題だと感じましたか？

- ・ 建造物や構造物の課題については、文化財建造物等の保護に関する意見（10件）と便益・管理施設に関する意見（10件）に分けられる。
- ・ 文化財建造物等に関する意見では天守、城山、石垣、堀などの復元（7件）や修復（4件）を希望する意見が多く確認された。主な意見は「城山や内堀での全体的な復元」が挙げられる。
- ・ 便益・管理施設に関する意見では施設によって景観が阻害されているとの意見が確認された（8件）。特に券売所による景観阻害が指摘されており、移設を求める意見が多くあった。

問4. 自由記載 今日の視察に参加して、丸岡城城山について思うことを自由にお書きください。

- ・ 実際に視察を行った影響か、城山の整備が必要であるとの意見が多く確認された（12件）。整備に関する意見の中では遺構保護の観点、活用の観点に区別できる。遺構保護の観点では「門の復元を希望」「歴史を大切にした整備を希望」という意見が挙げられた。活用の観点からの整備に関する意見が比較的多く、「見学者の動線の検討」「ツアーやイベント等の開催」などが挙げられた。
- ・ 丸岡城らしさについての意見も確認された（12件）。主な意見は「城山や城下町を含めた全体」「地域から愛されている」「歴史を感じられると丸岡城らしい」などが挙げられた。

年齢別意見

年齢別回答数は10代2件、30代1件、40代、50代3件、60代6件、70代5件、無回答6件である。

問1.

- ・ 10代は伐採を希望する意見が多く、30代から50代は桜を大切にすべきとするが、間伐の必要性も同時に記述していた。60代、70代は桜を大切にすべきとの意見が多く、400本を目指す植樹を希望する意見も目立った。

問2.

- ・ 10代及び50代は遺構の安全性についての意見、30代は遺構の説明を求める意見が多かった。40代は回答数が少ないが、調査の必要性を記述していた。60代は調査と公開、復元について記述していた。70代は回答数が少ないが、調査と清掃についての記述があった。

問3.

- ・ 10代は設備の老朽化についての記述があった。30代は無回答、40代は各回答によって意見が様々であり、景観と調査について、50代は復元について記述していた。60代は景観や調査、復元を含む整備について記述していた。70代は意見が様々であるが、安全性や景観、構造物の説明の必要性について記述していた。

問4.

- ・ 10代は景観と清掃について記述していた。30代は動線と文化財的価値の維持について記述していた。40代は城山の整備について記述していた。50代は丸岡城の歴史的な価値を感じていきたいと記述していた。60代は活用についての意見が多く、回答ごとに動線、広報、公開について記述していた。70代は市民への周知、地域の愛着や景観について記述していた。

その他

- ・ 年齢無回答（お住いも同様に無回答）の回答者については問1.についての回答が多く確認された（4/6件）。問1.では桜に関する意見であった。問2.3.では復元に関する記述をしていた。また、便益施設に関する意見も2件確認された。問4.への回答は無かったため、アンケート用紙の裏面を確認していない可能性が考えられる。

お住い別意見

お住い別回答数は町内15件、市内3件、県内2件、無回答6件である。

問1.

- ・ 町内は桜を維持することを前提とした意見が多数であった。町外は丸岡城をみせるように樹木を整理すべきと記述していた。

問2.

- ・ 町内外どちらも遺構の調査についての意見が目立っていた。町内は遺構の安全性についての意見が多少多くあったが（5件）、町外の回答においても安全性に対する意見が1件確認された。

問3.

- ・ 町内外どちらも建造物等の復元や調査、景観の意見が確認されている。

問4.

- ・ 町内では地域の愛着について記述されていたが、町外では確認されなかった。また、町内では設備に関する意見も確認された。町外では丸岡城の歴史的価値を含めた意見が多い傾向にある。